

(学) 宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校
2025 年度 授業シラバス

授業科目名	動物感染症学Ⅰ		科目コード	2501008	
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	1 年
担当教員	山下 眞理子（非常勤講師）				
	実務経験教員（ ☒ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 ・ 獣医師免許 ・ 日本動物高度医療センター（株） オーストラリア及び米国 CRI(Canine Rehabilitation Institute) 動物物理学療法師資格認定コース受講し、動物物理学療法のカリキュラムを修得・開発 一般社団法人 日本動物看護職協会事務局長など幅広く活躍されている				
開講時期	前期・後期・ ☒ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	62 時間	
	☒ 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学			
	著 者	緑書房編集部 編			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト2	書 名	寄生虫ビジュアルガイド			
	著 者	佐伯英治			
	出版社	株式会社 エデュワードプレス			
参考図書					
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）				
＜授業の目的・目標＞					
微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防、治療法など感染症対策の基礎を修得する。					
＜授業の概要・授業方針＞					
感染、発症とは何かを理解した後、病原微生物にはどのようなものがあるかを学習する。それぞれの微生物の特徴を理解した上で、感染症の症状や予防に進む。その後、寄生虫の生物学的な特徴や寄生虫症についての基礎知識を習得し、感染症予防の重要性を飼い主に伝えられるようになる。また、感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ。					
＜成績基準・評価基準＞					
前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。 また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。 通年の評価は、前期と後期の本試験の点数の平均を算出し、その平均点が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とする。					
＜使用問題集・注意事項＞					
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞公衆衛生学					

授業科目名		動物感染症学Ⅰ
2h/回	授 業 内 容	備 考
1	微生物の分類と特徴（微生物とは、微生物の種類）	
2	微生物の分類と特徴（細菌とは）	
3	微生物の分類と特徴（ウイルスとは）	
4	微生物の分類と特徴（真菌とは）	
5	微生物の分類と特徴（プリオンとは）	
6	寄生虫とは	
7	免疫学の基礎と応用（免疫の仕組み）	
8	免疫学の基礎と応用（免疫の仕組み）	
9	免疫学の基礎と応用（ワクチン）	
10	感染症とは	
11	感染症の成立要因と伝搬様式	
12	主要な感染症（狂犬病）	
13	消毒法と滅菌法	
14	院内感染の予防法	
15	前期まとめ	
16	微生物検査（微生物検査の基本）	
17	微生物検査（微生物検査の方法）	
18	微生物検査（微生物検査の方法）	
19	代表的な疾患（犬猫のウイルス性疾患）	
20	代表的な疾患（犬猫のウイルス性疾患）	
21	代表的な疾患（犬猫のウイルス性疾患）	
22	代表的な疾患（犬猫のウイルス性疾患）	
23	代表的な疾患（犬猫の細菌性疾患）	
24	代表的な疾患（犬猫の細菌性疾患）	
25	代表的な疾患（犬猫の細菌性疾患）	
26	代表的な疾患（犬猫の細菌性疾患）	
27	代表的な疾患（犬猫の細菌性疾患）	
28	代表的な疾患（犬猫の真菌性疾患）	
29	代表的な疾患（犬猫の原虫性疾患）	
30	代表的な疾患（その他の動物の代表的疾患）	
31	後期まとめ	